

別表 評価基準書

評価項目			評価の視点	配点	採点	5	4	3	2	1	0
事業者 (1次審査)	業務実績	業務受注実績	過去3年以内に、自治体業務、地域産業振興、起業・創業支援、地域コミュニティ形成、官民連携事業その他本業務と類似する業務の実績を有している。	5		類似事業（自治体の起業家支援等）を4件以上実施し、成果も確認できる実績あり	類似事業を2～3件実施しており、十分な経験がある	類似事業を1件実施、もしくは関連業務経験が複数あり	類似分野の実績があるが、内容が本業務と若干異なる	実績は乏しく、経験が浅いことがうかがえる	実績が無い
		実施体制	本業務を遂行するための実施体制、担当分野(役割分担)、バックアップ体制が明確であり、組織として安定的に業務遂行できる体制となっている。	5		担当分野が明確であり、組織化され、チームとしてバックアップ体制がある	担当分野が明確であり、組織化は弱いチームとしてバックアップ体制がある	担当分野が明確であり、組織化されているがチームとしてバックアップ体制に乏しい	担当分野が明確であるが、組織化されておらずチームとしてバックアップ体制に乏しい	担当分野が不明確であり、組織化されているがチームとしてバックアップ体制に乏しい	担当分野が不明確で、組織化されておらず、チームとしてバックアップ体制に乏しい
		業務実施体制 業務責任者・担当者	業務責任者及び担当者が、本業務に関連する分野において十分な経験、専門性及び調整能力を有している。 ※10年以上で実務経験豊富者とする	5		業務責任者及び担当者が経験豊富者3人かつ有効な資格所持者がいる	業務責任者及び担当者が経験豊富者3人	業務責任者及び担当者が経験豊富者2人	業務責任者または担当者が経験豊富者1人	業務責任者または担当者が経験豊富者0人で、有効な資格所持者がいる	業務責任者または担当者が経験豊富者0人で、有効な資格所持者がいない
		実施主体及び地域連携	厚真町又は町内事業者、住民、関係団体等との連携を含めた事業実施体制が見込まれ、地域の実情を踏まえて業務を進められる体制となっている。	5		事業体が町内に所在し、町内事業者2社以上と連携し事業を進められる	事業体が町内に所在し、町内事業者1社以上と連携し事業を進められる	事業体が町内に所在している	町内事業者2社以上と連携し事業を進められる	町内事業者1社以上と連携し事業を進められる	事業体が町内に所在せず、町内事業者と連携がない
	小計				20						

評価項目	評価の視点	配点	採点	5(10)	4(8)	3(6)	2(4)	1(2)	0
				卓越して良い	大変良い	良い	やや良い	やや不十分	不十分
企画提案（2次審査）	事業全体の理解度	町の地域性や課題を踏まえ、本業務の目的、3年後の到達目標、仕様書の趣旨を的確に理解した提案となっている。	5	地域課題・資源を的確に捉え、具体的かつ説得力ある施策を提示している	地域特性への理解が深く、適切な施策提案がなされている	基本的な地域理解はあるが、施策に十分に反映されていない	表層的な理解にとどまってお り、施策との連動性が乏しい	地域理解が不十分、他地域でも通用しそうな一般論に留まる	地域を理解していない、他地域でも通用しなそう
	各年度の積み上げの妥当性	①各年度の取組が段階的かつ現実的に設計されており、各年度の成果が次年度につながる構成となっている。 ②到達目標相互のつながりを踏まえるとともに、柔軟に見直せる提案となっている。	5	各年度の取組が段階的かつ現実的に設計され、その成果が次年度につながるごとに、到達目標相互のつながりが明確であり、状況変化に応じた柔軟な見直しが可能である	各年度の取組が概ね段階的かつ現実的に設計され、その成果が次年度につながり、到達目標のつながりや柔軟な見直しの視点も一定程度示されている	各年度の設計は標準的で、成果の接続や柔軟な見直しの具体性はやや弱い	段階性や成果の接続が不明確で、到達目標のつながりや柔軟な見直しへの配慮が不足している	段階性や成果の接続が乏しく、到達目標のつながりや柔軟な見直しの視点がほとんどない	該当する提案がない、又は評価に値しない
	継続性・波及効果	令和10年度終了後も、挑戦を応援する文化、事業創出の循環、コミュニティ運営及び挑戦を支える人材・関係性が地域内に残り、継続・発展していくことが期待できる。	5	事業終了後も地域に仕組み、人材、関係性が残り、挑戦文化や事業創出の循環が継続・発展する具体的な道筋が示されている	継続性や発展性が十分に意識されており、地域に一定の仕組みや関係性が残ることが期待できる	継続性への配慮はあるが、地域に何が残るかやその具体性がやや弱い	継続性への言及はあるが、具体的な道筋が不明確である	委託期間中のみ内容にとどまり、終了後の継続性がほとんど見込めない	該当する提案がない、又は評価に値しない
	実施体制・実現性	提案内容を実施できる体制、人員、専門性、工程、進行管理及び町との協議・改善の進め方が具体的かつ実現可能である。	5	実施体制、人員、工程、進行管理が具体的で、提案内容を確実に実施できる高い実現性がある	実施体制や工程が概ね具体的で、提案内容を実施する現実性が高い	実施体制や工程は標準的で、具体性や現実性はやや弱い	実施体制や工程が不十分で、提案内容の実現性に不安がある	実施体制が不明確で、提案内容を実施できる可能性が乏しい	該当する提案がない、又は評価に値しない
	独自性・提案力	仕様書の要件を踏まえつつ、地域課題や地域特性を踏まえた独自の工夫があり、本業務の効果向上又は波及効果の拡大が期待できる。	5	地域課題や特性を深く踏まえた独自性の高い工夫があり、効果向上や波及効果の拡大が期待できる	独自の工夫があり、効果向上や波及効果が期待できる	独自性は標準的で、効果向上や波及効果の視点がやや弱い	独自性や工夫が弱く、一般的な内容にとどまる	独自性や地域特性への配慮が乏しく、仕様書の要件をなぞった内容にとどまる	該当する提案がない、又は評価に値しない
	到達目標① 挑戦の日常化と文化の定着	住民や事業者による挑戦が日常的なものとして受け止められ、周囲が自然に応援・支援する文化の定着につながる提案となっているか。	10	挑戦を応援する文化の定着に向けた具体的な仕組みが示され、住民や事業者が挑戦を前向きに受け止め、周囲が自然に応援する関係性が広がる	挑戦を応援する文化の定着に向けた取組が十分に示されており、地域内で挑戦を支える機運が期待できる	挑戦を支える視点はありますが、文化の定着に向けた仕掛けや広がり の具体性がやや弱い	☒ 挑戦者支援の要素はあるが、文化の定着につながる設計が不十分である	個別支援にとどまり、挑戦を応援する文化の定着につながる視点がほとんどない	該当する提案がない、又は評価に値しない
	到達目標② 自律的な事業創出の循環の形成	行政支援のみに依存せず、起業や既存事業者の新たな事業展開が継続的に生まれ、挑戦と応援が循環する仕組みにつながる提案となっている。	10	自律的な事業創出につながる仕組みが具体的に示され、起業や新規事業展開が継続的に生まれる循環の形成が期待できる。	自律的な事業創出につながる仕組みが概ね具体的に示されており、挑戦と応援の循環が期待できる	起業や新規事業展開への支援はあるが、循環的な仕組みとしてはやや弱い	☒ 事業創出への取組はあるものの、継続性や循環性が不十分である	自律的な事業創出の循環を形成する視点が乏しく、行政依存のまま終わる可能性がある	該当する提案がない、又は評価に値しない
	3年後の到達目標の実現可能性□	到達目標③ 実装・事業化から産業化への発展	10	アイデアや実証的取組が実装、事業化を経て、有償サービス、売上、雇用創出等を伴う形で地域経済に結び付く提案となっている。	実装や事業化から地域経済への波及までの流れが概ね具体的に示されている	実装や事業化の視点はありますが、収益化や地域経済への接続がやや弱い	実証段階にとどまり、産業化や地域経済への結び付きが不十分である	実装・事業化・産業化への視点が乏しく、地域経済への寄与がほとんど見込めない	該当する提案がない、又は評価に値しない
	到達目標④ 文化交流施設を見据えた自律的なコミュニティ運営基盤の確立	10	文化交流施設を見据えた拠点形成や運営基盤の具体的な仕組みが示されており、自律的なコミュニティ運営につながる道筋が期待できる	文化交流施設を見据えた拠点形成やコミュニティ運営の考え方が十分に示されている	文化交流施設やコミュニティ形成への言及はあるが、自律的な運営への具体性がやや弱い	交流の場づくりの視点はありますが、施設活用や自律的な運営の設計が不十分である	☒ 文化交流施設を見据えた拠点形成やコミュニティ運営への視点が乏しい	該当する提案がない、又は評価に値しない	
	到達目標⑤ 挑戦を支える人材及び関係性の定着	10	ローカルベンチャースクール参加者、地域おこし協力隊OB・OG、町内事業者等が継続的に挑戦者を支える人的基盤の定着につながる提案となっている。	☒ 挑戦者を支える人材や関係性を定着させるための具体的な取組が示されている	支援人材の活用や関係性づくりへの視点はありますが、定着に向けた具体性がやや弱い	人材活用の考え方はありますが、定着につながる設計が不十分である	☒ 支援人材や関係性の定着に関する視点が乏しい	該当する提案がない、又は評価に値しない	
	その他	5	費用対効果が見込める、熱意や地域への配慮がある。	費用対効果が高く、提案内容と経費のバランスが優れており、熱意や地域への配慮も十分に認められる	☒ 費用対効果は概ね高く、提案内容と経費のバランスも妥当であり、熱意や地域への配慮が認められる	費用対効果、提案内容と経費のバランス、熱意及び地域への配慮はいずれも標準的である	費用対効果又は提案内容と経費のバランス、熱意若しくは地域への配慮のいずれかにやや課題がある	費用対効果、提案内容と経費のバランス、熱意又は地域への配慮に課題が大きい	該当する提案がない、又は評価に値しない
	小計		80						
合計		100							

※ 選考対象が60点以上を取得し、かつより点数が高い事業者を優先交渉権者とする

※ 同点の場合、委員の協議によって優先交渉権者を決定する